

「日本内視鏡外科学会」理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

日 時：2007年11月19日（月）9：00～12：00

会 場：仙台国際センター（仙台）

出席者：北島政樹（理事長）、黒川良望（会長）、北野正剛（副会長）、伊熊健一郎、大島伸一、大橋秀一、木村泰三、小西文雄、白日高歩、谷川允彦、土屋了介、出沢明、万代恭嗣、東原英二、星合昊、松本純夫、森川利昭、森川康英、渡邊昌彦（以上、理事）、宮野武、清水信義（以上、監事）、猪股雅史、徳村弘実、宮崎修吉（以上、総会幹事）

委任状：加藤紘之（以上、監事）、白石憲男（以上、総会幹事）

1. 前回議事録の件

2007年4月16日に開催された前回理事会の議事録について確認された。

2. 名誉会員・特別会員推戴の件

北島政樹理事長より、2006年12月5日に開催された評議員会において推戴された下記の特別会員の推戴状授与式が、評議員会において執り行われることが報告された。

<名誉会員>

荒木 勤 日本医科大学
岡田 昌義 加古川総合保健センター
杉町 圭蔵 公立学校共済組合九州中央病院
鈴木 博昭 東京慈恵会医科大学客員教授
炭山 嘉伸 東邦大学医学部外科学第三講座
守屋 秀繁 千葉大学医学部整形外科

<特別会員>

小川 由英 琉球大学医学部泌尿器科
長田 博昭 聖マリアンナ医科大学呼吸器外科
加藤 治文 東京医科大学外科第一講座
熊井浩一郎 慶應義塾大学病院内視鏡センター
小林 紘一 慶應義塾大学医学部外科
佐々木睦男 弘前大学医学部消化器外科
高橋 俊毅 国立病院機構横浜医療センター外科
鶴丸 昌彦 順天堂大学医学部上部消化管外科学
藤澤 武彦 千葉大学大学院医学研究院胸部外科学

3. 庶務報告

万代恭嗣理事より前回総会報告後より今回までの会員の推移が下記の通り報告された。
<2006年11月1日～2007年10月31日>

①会員数（2007年10月31日現在）9,067名

内訳

名誉会員	19名
特別会員	46名
評議員	574名
正会員	8,420名
賛助会員	8社
◆新入会	822名
◆退会	
本人申出	150名
死亡	3名

②物故者（敬称略）

朝山 功 金地病院
芦沢 一喜 恵信甲府病院
加藤 邦隆 市立甲府病院外科

4. 編集委員会報告

北島政樹主幹より、本年発行の第12巻の特集内容と論文採択率が下記の通り報告された。（但し、下記の集計は2007年11月8日現在、2006年11月～2007年9月の編集会議にて審査されたものまでとなっている）

1) 総投稿数 105本

（原著16, 症例報告76, 手術手技10, 私の工夫3, その他0）

2) 総採用数 81本

（原著15, 症例報告57, 手術手技8, 私の工夫1, その他0）

3) 総返却数 24本

（原著1, 症例報告17, 手術手技2, 私の工夫2, その他2）

4) 採用率 77.1%（総平均）

（原著93.8%, 症例報告75.0%, 手術手技80.0%, 私の工夫33.3%, その他n/a）

5) 投稿（採用決定）から掲載までの平均期間 5.0ヶ月

（原著4.1ヶ月, 症例報告5.3ヶ月, 手術手技4.4ヶ月, 私の工夫4.0ヶ月, その他n/a）

5. 総務委員会報告

伊熊健一郎委員長より、「日本がん治療認定機構」の要請により4月26日に開催された「日本がん治療認定医機構関連学会連絡委員会説明会」に参加したことが報告された。本学会は横断的な学会であり、各領域別の学会の協力により実施される「がん治療認定」にはそぐわないことから、現時点では参加しないこととなった。

6. 倫理・渉外委員会報告

白日高歩委員長より「内視鏡外科ライブ手術ガイドライン」案が提示され、説明された。ライブ手術については倫理的な観点、術者に与えるプレッシャーなどを考慮し慎重に行う必要があることが指摘され、行える術者の条件として技術認定取得を加えるべき、病院内倫理委員会の承認を実施の要件とすべきなどの意見があり、再度委員会にて議論されることとなった。

7. 教育委員会報告

黒川良望委員長より委員会にて、以下の件について検討されたことが報告され、議論があった。

- ①本年の教育セミナー実施状況が報告された。
- ②公認研究会・後援講習会の公認・後援状況について報告された。公認研究会について、活動状況のアンケートを実施したことが報告され、解散・休会などの研究会については委員会の承認により公認取消とすることとなった。また、事務局などが移転しアンケートの返送がなかった研究会について、事務局・代表者の調査に協力が求められた。
- ③「内視鏡下結紮・縫合手技講習会」を本年は計19回開催したことが報告された。
- ④用語集の改定について、改訂作業を進め、ホームページ上での公開に向けて準備中であることが報告された。

8. 学術委員会報告

北野正剛委員長より、第9回アンケート調査について概要が説明された。

また、アンケート調査実施時にディスプレイ製品のリユースに関するアンケートを実施することが提議され、アンケート調査の可否について議論されたが、シングルユース・デバイスの再利用を奨励しない態度を示すためにも実施すべきとの結論に至った。アンケート内容については、改めて委員会にて作成後に持ち回り理事会にて確認することとなった。

また、「内視鏡的肥満治療法に関する三学会合同委員会」（日本肥満学会、日本消化器内視鏡学会、本学会）、「NOTESに関する二学会合同委員会」（日本消化器内視鏡学会、本学会）の活動について報告された。

9. 規約委員会報告

大島伸一委員長より、本学会定款の改定案が提示され、前回一致で承認された。改定案は評議員会に答申される。「コメディカル会員」という名称については今後、言語的政治的な配慮をすることが指摘された。

また、総会の議事進行について、改定案に従って重要審議事項を審議した後に報告事項が報告されることとなった。

10. 国際委員会報告

万代恭嗣委員長より本年より実施されることとなった、JSES/SAGES Joint Symposium について以下の通り報告された。

① 第1回 JSES/SAGES Joint Symposium

日時：2007年11月19日（月）13：30～15：30

会場：仙台国際センター3階「白樺1」（第20回総会第4会場）

タイトル：「実際の症例を通して知る日米内視鏡外科手術の相違点」

概要：JSES・SAGES 双方よりの演者 3 名ずつにてディスカッションする

② 第 2 回 SAGES/JSES Joint Symposium

SAGES 期間中の 2008 年 4 月 11 日（金）にペンシルバニア（米国）にて開催される予定
また、IFSES の活動について、西アフリカにおける内視鏡外科トレーニングセンターの設立
に関する支援について引き続き協議されたが、本学会としては情報の収集などを行うことになっ
たことが報告された。

11. 広報委員会報告

出沢明委員長より、ホームページ運営状況と新たに刊行する「広報ニュース」について報告さ
れた。

「広報ニュース」は年 2 回（春秋）に刊行予定であることなどが報告され、正式に 2008 年度
より刊行されることとなった。

12. ガイドライン委員会報告

谷川允彦委員長より、ガイドライン作成作業の進捗状況について報告された。

各領域より作成されたガイドラインをホームページに掲載しパブリックオピニオンを募集して
いることが説明され、協力が要請された。ガイドラインは 2008 年春頃の完成を目指し準備され
ている。

13. 保険委員会報告

小西文雄委員長より、評議員へのアンケートを基に、外保連に 13 項目の要望（新設：8 項目、
改正：4 項目、材料：1 項目）を提出したことが報告された。その内 11 項目について本委員会
で申請書を作成したことが報告された。

14. 将来構想委員会報告

松本純夫委員長より「患者満足度調査」の概要が説明された。初回はパイロット・スタディと
して大腸の手術に関するアンケートを実施する。また、費用については 2008 年度予算案に計上
されている。

15. 第三者評価委員会報告

森川康英委員長より、2007 年度に対応した案件について報告された。今後も依頼案件につい
て対応する一方で、対応すべき案件の提議、会員照会への対応などについてさらに委員会で協議
されることとなった。

16. 技術認定制度委員会報告

木村泰三委員長より、技術認定制度について以下のように報告された。

①以下の 3 名が新委員として選任されたことが報告され、承認された。

呼吸器外科：近藤 晴彦 静岡県立がんセンター呼吸器外科

森山 重治 総合病院岡山赤十字病院外科

小児外科： 岩中 督 東京大学大学院医学系研究科生殖・発達加齢医学専攻小児医学
講座

②2007 年の技術認定実施状況が報告された。

泌尿器科：2006 年度の応募総数は 130 名。JSES への申請者は 49 名。

産婦人科：2006 年度の応募総数は 50 名。JSES への申請者は 12 名。

整形外科：2007 年度の応募総数は 30 名。JSES への申請者は 4 名。

消化器・一般外科：2007 年度の応募総数は 205 名，現在審査中である。

呼吸器外科：新たに選任された 2 名の新委員と協力し認定制度実施を目指している。

小児外科：2008 年より小児外科領域の技術認定制度が実施されることとなった。

これに伴い，技術認定制度規則第 3 条に「小児外科領域」を加えることとなった。

③泌尿器科，産婦人科，整形外科領域の申請者について提示され，全員を技術認定取得者として承認することが承認された。

④国際学会など海外での技術認定制度の紹介状況について，委員などが執筆した論文・演題発表などについて報告された。

⑤更新について議論し，原則的には書類の提出に拠ることとし，特定の理由によりビデオ提出を求めることは各領域の技術審査委員会に委ねられる。

⑥動物実習を技術認定の要件とすることについて議論があり，今後，各領域技術審査委員会において決定される。

17. 日本医学会の件

黒川良望理事より，2 月 21 日に開催された第 74 回日本医学会定例評議員会および 6 月 20 日に開催された第 1 回日本医学会臨床部会会議について報告された。

18. 大上賞の件

土屋了介委員長より，大上賞受賞候補者の募集会告が提示され，候補者の資格，受賞者決定の経過などについて説明された。受賞者の要件などについて議論され，受賞者は各年 1 名，賞金は 50 万円とすることが決定された。賞金は新たに設ける「大上賞基金」への寄付で原則として賄うこととなる。第 1 回の募集は明年 1 月末日を締切りとして実施される。

19. 伊藤賞の件

本年度の受賞者が北島政樹編集主幹より報告された。授与式は昨年と同じく評議員会にて行われる。

石黒 要（石川県立中央病院一般消化器外科）

「内視鏡下粘膜下層剥離後の腹腔鏡補助下胃切除術」（日鏡外会誌第 12 巻第 5 号）

20. カールストルツ賞の件

本年度の受賞者が黒川良望会長より報告された。授与式が評議員会で行われることとなった。

1) 鷺尾 一裕（岡山労災病院外科）

2) 山下 和城（川崎医科大学消化器外科）

3) 塩野 裕之（大阪警察病院呼吸器外科）

21. 第 20 回総会について

黒川良望会長より、第 20 回総会について報告された。

会長：黒川 良望（東北大学先進医工学研究機構）

日程：2007 年 11 月 19 日（月）～21 日（水）

会場：仙台国際センターほか（仙台）

22. 第 21 回総会について

北野正剛副会長より、第 21 回総会の準備状況が報告された。

会長：北野 正剛（大分大学医学部第一外科）

日程：2008 年 9 月 2 日（火）～9 月 6 日（土）

会場：パシフィコ横浜（横浜）

※第 11 回世界内視鏡外科学会と共催，ELSA 2008（アジア内視鏡外科学会）と同時開催

23. 第 22 回総会について

小西文雄理事より、第 22 回総会の準備状況について報告された。

会長：小西 文雄（自治医科大学付属さいたま医療センター）

日程：2008 年 12 月 3 日（木）～5 日（土）

会場：京王プラザホテル（東京）

24. 2006 年度会計報告

星合昊財務委員長より、2005 年度決算報告がなされ、承認された。

25. 会計監査報告

宮野武監事より、2006 年度会計の監査報告がなされた。

26. 財務委員会よりの提案

星合昊委員長より本学会会員数が 9,000 名を超え法人化について準備している状況から、社会的な責任を果たすべく検討されたことが報告され、以下の点につき提議された。

①最近 5 年分（2003～2007 年度）の租税公課を来年 2 月に納税処理する。

②総会開催は本学会の事業であるので、租税公課は本学会会計より納税する。

③総会開催に関わる会計は特別会計として別に管理する。

④総会開催収支に余剰が生じた場合には本学会会計に繰り入れることとし、不足が生じた場合には本学会会計より補填する。

⑤総会が概ね 12 月頃に開催され、会計年度が 1 月～12 月である場合、決算から納税までに十分な作業期間がないことから、会計年度を 3 月～4 月、あるいは 6 月～7 月などに変更することを検討する。

特に過去 5 年分の総会の収益事業の租税公課を納税することについて議論があり、特に公益法人財政について法整備が未決定である現状において積極的に納税することの意義について意見があったが、社会的な責務を鑑み委員会提案に従って実施することとなった。

27. 2008 年度予算案について

星合昊財務委員長より、2008 年度予算案の提示があった。黒川良望教育委員長より内視鏡下結紮・縫合手技講習会受講料の値上げの指摘などがあったが、概ね提示通り承認された。また、来年度より総会の会計を特別会計として管理するため、第 21 回総会会計の予算案が北野正剛副会長より提示され、承認された。また、大上賞特別会計の予算案について、賞金額を訂正の上承認された。

28. 新評議員について

大橋秀一評議員選考委員長より、本年度に寄せられた評議員申請 12 名と選考結果が報告され、審議の結果、以下の 12 名全員が選出された。

市川 智彦	千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学
江川 智久	恩賜財団済生会横浜市東部病院
加藤 広行	群馬大学付属病院
熊野 公束	第一東和会病院
坂井 義治	京都大学消化管外科
世川 修	東京女子医科大学小児外科
細内 康男	群馬県済生会前橋病院
松尾 勝一	福岡大学病院消化器外科
森井 雄治	小文字病院
山高 篤行	順天堂大学医学部小児外科・小児泌尿生殖器外科
若月 俊郎	山陰労災病院外科
和田 寛也	松山赤十字病院

また、委員の名誉会員就任に伴い委員に欠員が生じたことが報告され、委員会において推挙し補充されることとなった。

29. 名誉会員・特別会員推戴の件

下記の評議員が特別会員に推挙され、満場一致で承認された。

<特別会員>

江上 格	医療法人社団鶴巻温泉病院
草野 満夫	昭和大学医学部附属病院一般・消化器外科
田尻 孝	日本医科大学外科学講座消化器一般乳腺移植外科分野
出口 修宏	埼玉医科大学腎臓病センター
林田 康男	順天堂大学医学部総合診療科
和田 洋巳	京都大学医学部附属病院呼吸器外科

30. その他

特になし。

2008 年 2 月 15 日

「日本内視鏡外科学会」評議員会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

日時：2008 年 11 月 19 日（月）18：15～19：45

会場：仙台国際センター（仙台）

評議員会においても，理事会における報告事項並びに審議事項が変更・修正なく承認されたので，議事録は理事会議事録をもってあて，省略する．

以上